

阿賀野市商工業景況調査報告書

実施主体 阿賀野市商工業振興協議会

構成商工会 安田商工会、京ヶ瀬商工会

水原商工会、笹神商工会

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 地区内小規模事業者

イ 調査企業数 120 事業所 (うち小規模事業者数 120 事業所)

ウ 回答企業数 120 事業所 (うち小規模事業者数 120 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

令和3年7月～令和3年12月

(調査時点 令和3年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

令和3年7月から12月までの半年間の経営実績と前年同期(令和2年7月～12月)と前期(令和3年1月～6月)との経営実績を比較した場合と来期(令和4年1月～6月)の見通しについて調査を実施しました。

(4) 調査対象と回答企業の構成 (R3.4.1現在)

| | 地区内企業数 | | 調査企業 | |
|-----------|--------|--------|------|--------|
| | 企業数 | 構成比 | 企業数 | 構成比 |
| 製造業 | 197 | 11.3% | 15 | 12.5% |
| 建設業 | 499 | 28.7% | 43 | 35.8% |
| 卸・小売業 | 391 | 22.5% | 25 | 20.8% |
| 飲食・サービス業他 | 649 | 37.4% | 37 | 30.8% |
| 合計 | 1,736 | 100.0% | 120 | 100.0% |

(5) 阿賀野市水原地区の商工業の構成状況 (令和3年4月現在)

阿賀野市の商工業者数は、1,736事業所(うち小規模事業者数は1,529事業所)となっています。

業種別では、製造業が197事業所(11.3%)、建設業が499事業所(28.7%)、卸・小売業が391事業所(22.5%)、サービス業(飲食・宿泊業含む)が564事業所(32.5%)、その他85事業所(4.9%)の構成となっています。

この度の4商工会合同景況調査は、阿賀野市内小規模事業者のおよそ7.8%にあたる120事業所の企業の方々からご協力をいただき実施しました。

(注)小規模事業者とは ⇒従業員が20人以下(商業・サービス業では5人以下)の事業者

2. 地域内産業全体の景況概要

阿賀野市内の小規模事業者等は、前期比で回復の兆しがあったものの今後の見通しではプラス要因とマイナス要因が減り「不変」が増加しています。昨年の調査期間から2年連続コロナウイルス禍での調査となっており、感染症の増加と減少を繰り返し、安定しない経済活動の中、事業者は景気回復が見通せないと判断しています。

【後継者の状況】

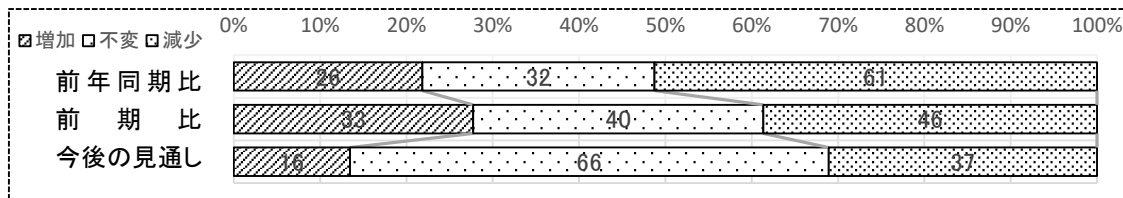
昨年調査と同様、約60%が「後継者なし」と回答しています。「後継者なし」と回答した業種は、飲食・サービス業他62.2%、卸・小売業60.0%、建設業58.1%、製造業53.3%の順となっています。引き続き、持続可能な地域経済を目指すために事業承継対策が必要と思われます。

| | | |
|--------|-------|-------|
| 後継者 あり | 49事業所 | 40.8% |
| 後継者 なし | 71事業所 | 59.2% |

【売上高】

前年同期比では「減少」の回答が51.3%、前期比では38.7%、今後の見通しでは31.1%と若干ずつ回復傾向を示しています。しかし、「増加」の回答は前年同月比で21.8%、前期比では27.7%と増えましたが、今後の見通しでは13.4%と減少しています。この傾向は全業種で共通しており、業種を問わず依然として厳しい状況が続いています。

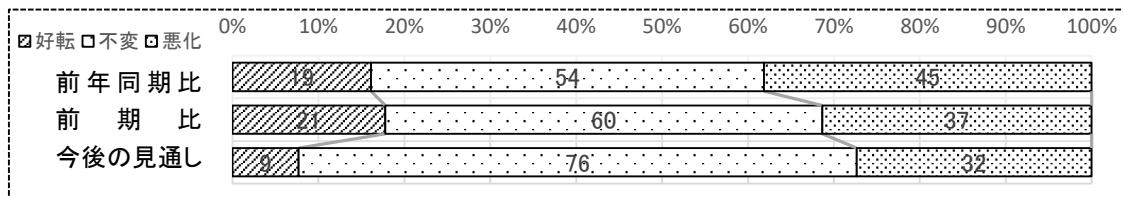
| 前年同期比 | | | 前期比 | | | 今後の見通し | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 増加 | 不変 | 減少 | 増加 | 不変 | 減少 | 増加 | 不変 | 減少 |
| 26 | 32 | 61 | 33 | 40 | 46 | 16 | 66 | 37 |
| 21.8% | 26.9% | 51.3% | 27.7% | 33.6% | 38.7% | 13.4% | 55.5% | 31.1% |



【採算】

基本的には売上の項目と同様の傾向を示しています。売上の減少、原材料等の高騰が採算でも厳しい状況であることが窺えます。

| 前年同期比 | | | 前期比 | | | 今後の見通し | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 好転 | 不変 | 悪化 | 好転 | 不変 | 悪化 | 好転 | 不変 | 悪化 |
| 19 | 54 | 45 | 21 | 60 | 37 | 9 | 76 | 32 |
| 16.1% | 45.8% | 38.1% | 17.8% | 50.8% | 31.4% | 7.7% | 65.0% | 27.4% |



【仕入単価】

前年同期比、前期比、今後の見通しとも約45%が「上昇」と回答しており、「低下」の回答は7.0%未満となっています。原材料の高騰、仕入単価の上昇が採算に影響し、経営を圧迫する要因と考えられます。

前年同期比

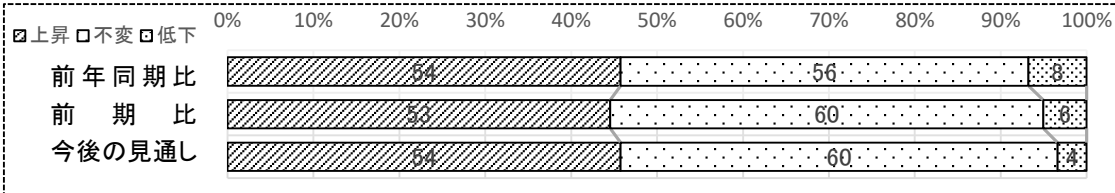
| 上昇 | 不変 | 低下 |
|-------|-------|------|
| 54 | 56 | 8 |
| 45.8% | 47.5% | 6.8% |

前期比

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|-------|-------|------|
| 53 | 60 | 6 |
| 44.5% | 50.4% | 5.0% |

今後の見通し

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|-------|-------|------|
| 54 | 60 | 4 |
| 45.8% | 50.8% | 3.4% |



【販売（客）単価】

前年同期比、前期比、今後の見通しとも大きな変化はありませんでした。しかし、卸・小売業では、前期比・今後の見通しで「低下」の回答が減少し、「上昇」「不変」が増加しています。これはコロナウイルス禍における在宅時間が増えたことによる「巣ごもり消費」の増加などライフスタイルの変化が窺えます。

前年同期比

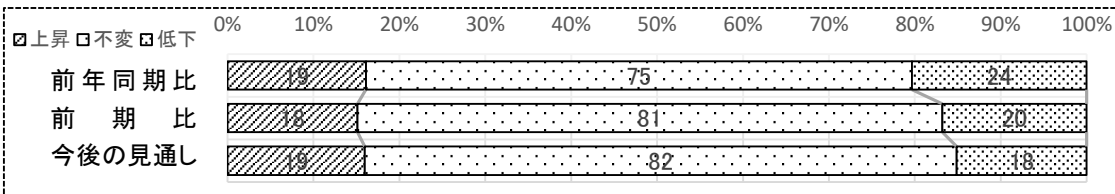
| 上昇 | 不変 | 低下 |
|-------|-------|-------|
| 19 | 75 | 24 |
| 16.1% | 63.6% | 20.3% |

前期比

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|-------|-------|-------|
| 18 | 81 | 20 |
| 15.1% | 68.1% | 16.8% |

今後の見通し

| 上昇 | 不変 | 低下 |
|-------|-------|-------|
| 19 | 82 | 18 |
| 16.0% | 68.9% | 15.1% |



【資金繰り】

前年同期比、前期比、今後の見通しとも同様の傾向となっており「不変」が80%近くを占めています。製造業ではいずれの期でも「好転」すると回答した事業所はなく、飲食・サービス業は、今後の見通しで「悪化」すると回答した割合が27.0%と最も高くなっています。今後もコロナウイルス感染症の影響が懸念され、資金面での支援策の必要性を感じる結果となっています。

前年同期比

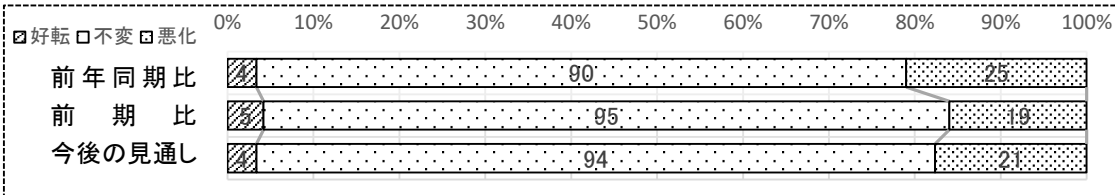
| 好転 | 不変 | 悪化 |
|------|-------|-------|
| 4 | 90 | 25 |
| 3.4% | 75.6% | 21.0% |

前期比

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|------|-------|-------|
| 5 | 95 | 19 |
| 4.2% | 79.8% | 16.0% |

今後の見通し

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|------|-------|-------|
| 4 | 94 | 21 |
| 3.4% | 79.0% | 17.6% |



【雇用動向】

基本的に従業員が少ない小規模事業者を対象としているため、昨年調査と同様で、前年同期比、前期比、今後の見通しとも「不変」が約90%を占めています。

前年同期比

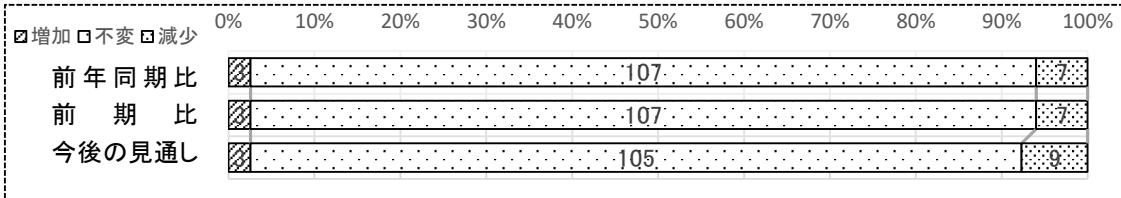
| 増加 | 不変 | 減少 |
|------|-------|------|
| 3 | 107 | 7 |
| 2.6% | 91.5% | 6.0% |

前期比

| 増加 | 不変 | 減少 |
|------|-------|------|
| 3 | 107 | 7 |
| 2.6% | 91.5% | 6.0% |

今後の見通し

| 増加 | 不変 | 減少 |
|------|-------|------|
| 3 | 105 | 9 |
| 2.6% | 89.7% | 7.7% |



【景況判断】

前年同月比、前期比、今後の見通しで「不変」の回答が徐々に増えています。今後の見通しでは「好転」と回答した事業所が減っており、今後ますます厳しい状況となることが予測されます。

前年同期比

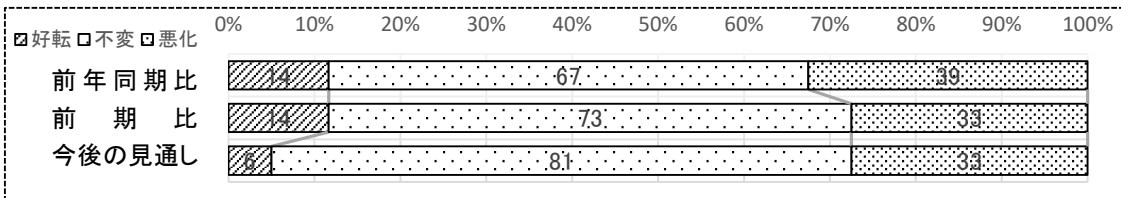
| 好転 | 不変 | 悪化 |
|-------|-------|-------|
| 14 | 67 | 39 |
| 11.7% | 55.8% | 32.5% |

前期比

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|-------|-------|-------|
| 14 | 73 | 33 |
| 11.7% | 60.8% | 27.5% |

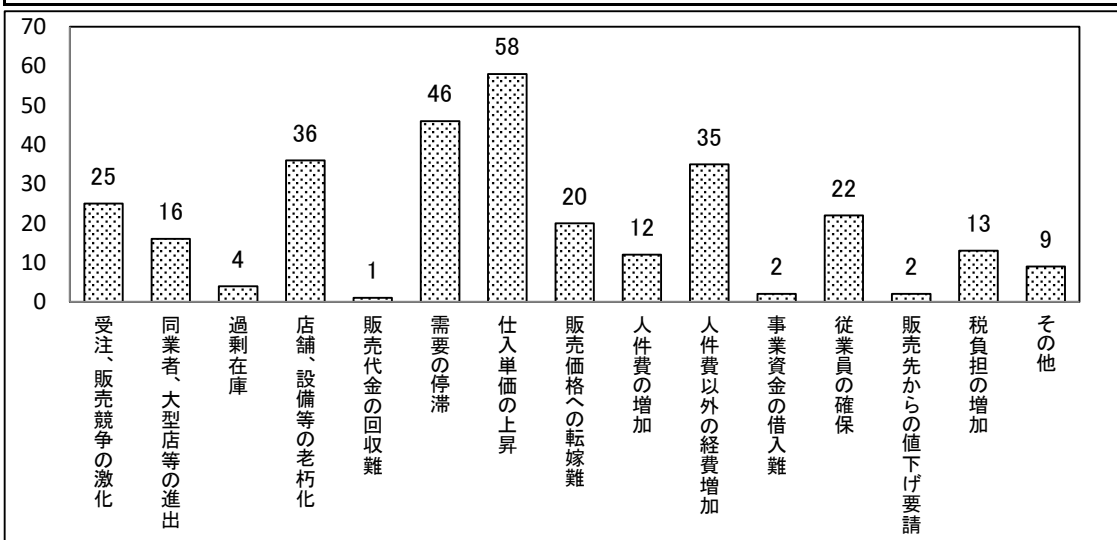
今後の見通し

| 好転 | 不変 | 悪化 |
|------|-------|-------|
| 6 | 81 | 33 |
| 5.0% | 67.5% | 27.5% |



【経営上の問題点】

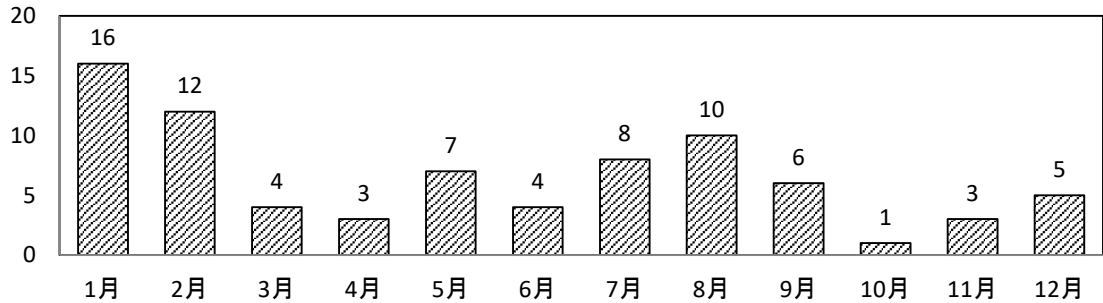
全体では「仕入単価の上昇」が一番多く、「需要の停滞」「店舗、設備等の老朽化」が続いており、昨年調査では4位の「仕入単価の上昇」が1位になっています。建設業では「仕入単価の上昇」が最も多く約25%を占めており、ウッドショック・原油高などの要因が窺えます。しかし、製造業、卸・小売業では「需要の停滞」が一番多い回答でした。業種により若干の相違が表れています。



3. 新型コロナウイルス感染症に関する影響調査

(1) コロナウイルス感染症の影響で最も売上が減少した月 (調査期間：令和2年11月～令和3年10月)

全体集計では1月・2月が最も多い回答でしたが、製造業では6月、建設業では2月、卸・小売業では1月・2月・7月、飲食・サービス業他では1月が最も減少した月で、業種によりバラツキが見られました。



(2) 前年同月比と比較した減少率

売上が「減少」と回答した事業所は120事業所のうち、71事業所となっています。昨年調査で「減少」と回答した事業所は88.2%でしたが、今回調査では59.2%と減少割合は減っていますが、新型コロナウイルス禍での比較であるため回復したと判断できる数値ではありません。減少率・最大100%と回答した事業所は建設業と飲食・サービス業他の業種となっています。
業種別では飲食・サービス業他が平均で40.5%減少しており、最も高い数値でした。

| | |
|-------------|--------|
| 売上が減少した事業所 | 71事業所 |
| 売上の減少率(最大値) | 100.0% |
| 売上の減少率(最小値) | 5.0% |
| 売上の減少率(平均値) | 36.0% |

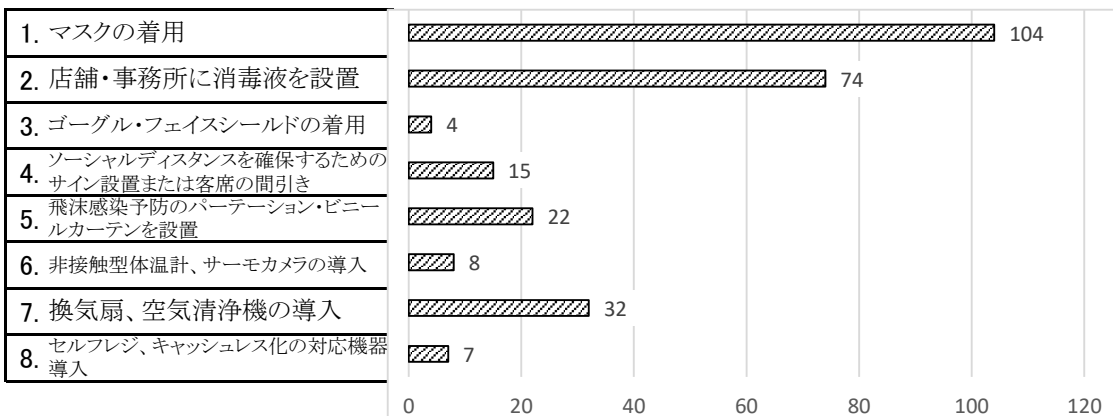
(3) コロナウイルス感染拡大防止策の取組み

感染拡大防止策を講じた事業所は90.0%であり、昨年調査より12.7ポイント増えています。業種別では飲食・サービス業他が97.3%、卸・小売業が88.0%、製造業86.7%、建設業86.0%となっており、昨年調査同様、消費者と直接取引のある業種が高い割合で防止策を講じています。

| | | |
|---------|--------|-------|
| 実施した | 108事業所 | 90.0% |
| 実施していない | 12事業所 | 10.0% |

(4) 防止策の実施内容（複数回答）

実施した防止策では、「1. マスクの着用」が96.3%（104事業所）で最も多く、「2. 店舗・事務所に消毒液を設置」68.5%（74事業所）、「7. 換気扇、空気清浄機の導入」29.6%（32事業所）の順となっており、昨年調査より格段に対策を取っている事業所が増加しています。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

製造業では、全ての調査項目で「不変」と「減少・悪化」、仕入単価の「上昇」が大半を占めています。今後の見通しでは、採算性、資金繰り、雇用動向で「好転」と回答した事業所はなく、厳しい現状が窺えます。また、53.3%が「後継者なし」と回答しており、昨年調査と比べ9.5ポイント増えています。

経営上の問題点では「需要の停滞」が22.0%、「仕入単価の上昇」が17.1%、「店舗・設備等の老朽化」が14.6%の順となっており、「仕入単価の上昇」は昨年調査と比べ2.4倍となっています。

コロナウイルス感染症の調査項目では、53.3%の事業所が「売上の減少有り」と回答しています。また、コロナウイルス感染防止の取組みは有効回答のうち86.7%が対策を取っています。対策（複数回答）では「マスクの着用」が100.0%、「消毒液の設置」が46.7%と多くなっており、「換気扇、空気清浄機の導入」も30.8%と導入割合が高くなっています。

今後強化したい点では「販路開拓」等を挙げています。

(2) 建設業

建設業では、仕入単価の「上昇」が60%台を占めており、原油高・原材料の高騰が影響していることが窺えます。売上高は前期比で回復の兆しがありましたが、今後の見通しでは「増加」が56.3%減少し、今後は厳しくなると予測しています。また、58.1%の事業所で「後継者なし」と回答していますが、昨年調査と比べて6.2ポイント減っています。

経営上の問題点では「仕入単価の上昇」が24.8%と最も高く昨年調査の約3倍となっています。続いて「人件費以外の経費増加」14.7%、「従業員の確保」12.8%の順となっています。

コロナウイルス感染症の調査項目では、44.2%の事業所が「売上の減少有り」と回答しています。他の業種と比べると影響は低くなっています。また、コロナウイルス対策は86.0%の事業所で取組んでいます。対策（複数回答）では「マスクの着用」が100.0%と最も多く、次に「消毒液の設置」が43.2%となっています。

今後強化したい点では「SDGsへの取組み」「人材育成」等を挙げています。

(3) 卸・小売業

卸・小売業では、売上高・採算性・資金繰り・雇用動向・景況判断の項目で「増加・好転・上昇」と回答したところは10%以下の回答であり、厳しい経営環境であることが窺えます。また、60.0%の事業所で「後継者なし」と回答していますが、前回調査より8.0ポイント減少しています。

経営上の問題点では「需要の停滞」が21.9%と最も多く、「同業者、大型店の進出」14.1%、「仕入単価の上昇」12.5%の順となっており、上位3位は昨年調査と同様でした。

コロナウイルス感染症の調査項目では、73.0%の事業所が「売上の減少有り」と回答しています。また、コロナウイルス対策は88.0%の事業所で取組んでいます。対策（複数回答）では「消毒液の設置」が95.5%と最も多く、次に「マスクの着用」91.0%、「換気扇、空気清浄機の導入」22.7%となっています。

今後強化したい点では「ネット販売」「設備投資」「商品開発」等を挙げています。

(4) サービス業他

飲食・サービス業他では、売上高で「減少」と回答した事業所は前年同期比で59.5%、前期比で45.9%、今後の見通しで40.5%と回復傾向となっていますが、「減少」を占める割合は他の業種と比べ高くなっています。採算性はじめ他の項目でも同様の傾向となっています。また、62.2%の事業所で「後継者なし」と回答しており、前回調査より7.9ポイント増えています。

経営上の問題点では「店舗、設備等の老朽化」が19.5%と最も多く、次いで「仕入単価の上昇」18.4%、「需要の停滞」14.9%、「人件費以外の経費増加」13.8%となっています。

コロナウイルス感染症の調査項目では、73.0%の事業所が「売上の減少有り」と回答しています。また、コロナウイルス対策は97.3%の事業所で取組んでおり、他の業種より多くなっています。対策（複数回答）では「マスクの着用」が94.4%と最も多く、次に「消毒液の設置」83.3%、「換気扇、空気清浄機の導入」55.6%となっています。

今後強化したい点では「電子マネーの導入」「ネット販売強化」等を挙げています。

(様式-1)

景況調査ヒアリングシート (令和3年度)

調査対象期間 令和3年7月～12月

(調査時点 令和3年12月1日)

調査日：令和3年12月__日

| | | | |
|-----------------|--------|--------------------------------------|--|
| 商 工 会 名 | 商工会 | 担当職員名 | |
| 企 業 の 概 要 | 業 種 | 1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他 | |
| | 従業員数 | 1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超 | |
| | 企業区分 | 1：小規模事業者 2：小規模事業者以外 | |
| | 後継者の有無 | 1：有 2：無 | |

1- (1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

| | 前年同期 (R2年7～12月) と比較して | 前期 (R3年1月～6月) と比較して | 今期 (R3年7～12月)と 比較した来期 (R4年1～6 月)の見通し |
|----------|--------------------------|------------------------|--|
| 売 上 | 1. 増加 2. 不変 3. 減少 | 1. 増加 2. 不変 3. 減少 | 1. 増加 2. 不変 3. 減少 |
| 採算(経常利益) | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化 | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化 | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化 |
| 仕 入 単 価 | 1. 上昇 2. 不変 3. 低下 | 1. 上昇 2. 不変 3. 低下 | 1. 上昇 2. 不変 3. 低下 |
| 販売(客)単価 | 1. 上昇 2. 不変 3. 低下 | 1. 上昇 2. 不変 3. 低下 | 1. 上昇 2. 不変 3. 低下 |
| 資 金 繰 り | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化 | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化 | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化 |
| 雇 用 動 向 | 1. 増加 2. 不変 3. 減少 | 1. 増加 2. 不変 3. 減少 | 1. 増加 2. 不変 3. 減少 |
| 景 況 判 断 | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化 | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化 | 1. 好転 2. 不変 3. 悪化 |

1- (2) 貴社の経営上の問題点 (下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

1. 受注、販売競争の激化
2. 同業者、大型店等の進出
3. 過剰在庫
4. 店舗、設備等の老朽化
5. 販売代金の回収難
6. 需要の停滞
7. 仕入単価の上昇
8. 販売価格への転嫁難
9. 人件費の増加
10. 人件費以外の経費増加
11. 事業資金の借入難
12. 従業員の確保
13. 販売先からの値下げ要請
14. 税負担の増加
15. その他 (.....)

1- (3) 今後の事業・経営において強化したい点 (設備投資・販路開拓等)

| |
|--|
| |
|--|

裏面もご回答ください。

(様式-1)

2 新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という）に係る影響についてお尋ねします。

2-(1) 感染症の影響で令和2年11月から令和3年10月までで、
最も売上が減少した月は⇒(回答) _____月

2-(2) 前述の月は前年同月比と比較して何%増減しましたか⇒(回答) _____%増・減

2-(3) コロナ感染拡大防止策として、具体的な取組みを実施しましたか。

(回答・該当に○) ___実施した___ ___実施していない___

2-(4) 前述(3)で、防止策を「実施した」と回答した方はどの様な策を講じました。

(該当番号に○・複数回答可)

1. マスクの着用
2. 店舗・事務所に消毒液を設置
3. ゴーグル・フェイスシールドの着用
4. ソーシャルディスタンスを確保するためのサイン設置または客席の間引き
5. 飛沫感染予防のパーテーション・ビニールカーテンを設置
6. 非接触型体温計、サーモカメラの導入
7. 換気扇、空気清浄機の導入
8. セルフレジ、キャッシュレス化の対応機器導入

***** ご協力ありがとうございました。 *****